常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番

夏家具 冷蔵庫 はい張 すだれ 本場かや
◎各種豊富取揃
あるが
平市銀座電223

平市議会

一せいに鋭い質問攻め
機構擴大は逆コースぢあないか
たちたぢの伊藤助役

平市定例市議会は二十八日午前十時四十五分、大泉議長病欠のため木村副議長が議長を代行して開会、開期を一日と定めたのち会川伊重議員から厳父葬儀に対する謝辞あつて議事に移り、議案第七十五号追加更生予算、同第七十六号特別会計高圧線建設追加予算、同第七十七号平市職員定数条例改正の件、同第七十八号部課設置条例改正の件、同第七十九号公営施設使用料条例設定の件、同第八十号専決処分承認の件の六議案を一括上提、伊藤助役から提案理由説明に続いて質疑応答に入つたが、衛生課復活問題では地方自治体の強化策から全国的に機構縮少を叫ばれているとき逆コースであると思うので今回は見送るべきである、また立入禁止処分を受けた臨海学校については市当局は何如なる対策を立てているのかと鋭く一せいに市当局を追究して注目を集めた。（午後一時休議）

質問の内容

水竹、衛生課は県の要請で作ると言うことは納得出来ない、機構改革は各地で問題となつている研究してやつて欲しい、人事の件も他から移入をさけ庁内で計るべきと考える。

鈴木（政）、臨海学校について市の態度にかんばしくないことがあると報導されている、いつから開校出来るか、

小野（栄）、臨海学校の所在地を明確にせよ、収容人員なども、保安林を無断で伐採したと報導されているがこの点も明確にして欲しい、

花沢、臨海学校建設に土木委員として許可したが、当局は土木委に対しては何時建前をするのか何時出来たのかも判らない、新聞をみて驚いている、何時も土木委員に相談しないのか、職責を無視している。立入禁止についてどのような手を打つているか経過を明りようにせよ。

福田、立入禁止は相当永びくと聞く土木業者に対する損害倍償も考慮しなければならないと思うが対策は？

志賀（季）新しい課の設置は逆コースである、県の要請あつても市の財政面から考慮すべきだ、この際この議案は見送るべきだ

また人員整理など考えているか

助役、衛生課は県の要請でのみ設置するのでなく大平市建設の建前から独立を考慮したのである課の新設によつて人員の増加はしないつもりである、人員整理については合併町村吏員の身分保証の条件があるので現在はその時機でないと考えている、将来は考慮したい、

臨海学校は何とか七月の下旬には開校したいと考えて計画した、土木委にはかつて志賀子之松氏に落札した、土木委員会を軽視はしていない、主管課長に独断的なところがあつたので上棟式の翌十四日立入禁止されてしまつた、早速市長と坂本商工委員長と同道して前橋の本局に陳情したところ本局の方も協力的態度であつたので二十七日市長と私と一緒に平営林署を訪ねて陳謝と促進を要請したところ営林署側も協力すると云うことになつたので改めて貸地願いを出した。今後はなごやかに運べると考えている、将来はこのような誤を再び繰返さないよう努力する。（午前の会議）

閼場課長辞任の噂
市長と助役との密議か

衛生課新設案が市会を通過すれば競輪課長の選任と共に七月一日付で二、三の課長級の異動はまぬかれないとみられているがこれらをめぐつて、市当局は関場農務課長に対して辞職を要請その成行きが注目されている。

関場課長の問題は、神谷の原種農場長荒井氏の農務課長担出し説から巷間の話題にのぼつていたものであるが、荒井場長の農務課長就任には強い反対もありまた農村出身議員らは最近荒井氏説が急速に台頭したことから二十七日十余名が揃つて市当局に関場氏留任を強く要請しているので決定までには相当紛糾するものともみられている。

市当局では関場氏の辞職要請について過般の飯野農協問題にからみ警察当局も「この際辞職をした方が良策である」と語つたとか或は三十日付で辞退してくれゝばその後短期間中に適職を用意させると云う意味のことを条件として強く要請したとも言われ、何か割り切れないものを残している。特にこの問題は市議連が二十七日市当局に真相を追究するまで当の関場課長自身にも相談なく市長と助役の間で秘議されて来たものである。

勧告をしたことはない
平警察署長談

なお飯野農協問題について云々と警察当局が勧告した点について佐藤平署長は「全くそんな事実はない」と噂さを否定している。

諸橋市長談

関場課長辞職問題について諸橋市長は「まだ何とも決つていないのし今のところ何とも云えない」と言明をさけている。

収入役会解散

石城郡市町村収入役会では二十七日午後十二時三十分から植田公民館で定例総会を開き、二十九年度決算を承認したのち、各市町村赤字財政の負担金の節約を計るため二十七日付で解散を決議した。

合磯部落民ら陳情
爪弾きされて生活出來ぬ

磐城市の発足に伴い従来まで江名町の区轄であつた豊間合磯、塩場地区は平に編入したため、その後江名側からことごとに閉出され、「立入禁止」「学区問題」などでその後益々事態が悪化した為に豊間合磯、塩場から代表近藤清氏以下七名が二十八日市当局を訪れて次の様な陳情をした

◆海産商の賦金問題、部落内の海産商者は従来他の豊間海産商員とは別に江名町海産商員としての取扱を受けていたが、平市合併後は行政区裂通り、この組合加入を認められなくなり、買付魚の賦金三分を支払つて営業しており、これが年間額は生活費に匹敵するもので、生活上重大な支障を来たしている。したがつて部落内婦女の労務員に対しての賃銀上にも影響するもので水産加工上に生きる部落の重大問題である。

◆小舟業者磯稼業者の磐城市（江名）区域操業について、当部落の大部分は漁夫で、この地方の機船底曳船法定休漁期（七月ー八月）は小舟又は磯稼により生計を営んで居り、現在の実情は江名区域の方が収入も多く、小舟が必要なえさも江名区域にたよらねばならない。行区轄上の問題から立入或は進入操業について再三の苦情申し込みがありからの当該生活者に対して重大問題である。

◆小学児童の通学問題について当部落中心地から現在の江名通学は約十五分、豊間通学は約一時間もかゝり、バス通学も経済上困難な状態である。江名の知人親類等への学童のみ住民登録及び再三の部落よりの江名当局に対する陳情により暫時了解を得て居るが、登録関係上主食配給に支障も有り、江名走出地内に小学校敷地が決定されたので尚更のことこの点も将来特別なる処置を願う。

というもので成行きが注目されている。

妻を〃オノ〃で滅多打ち
別れ話に憤慨した坑夫

廿八日午前十一頃勿来市勿来町四沢大日本炭砿雑役夫長田実(三三)は自宅で妻松子(三四)を支柱用のオノで頭部を滅多打ちにし脳底に達する重傷を負わせた。松子は直ちに炭砿病院に入院手当中だが重態、永田は勿来派出所に連行され取調べ中である。

原因は生活苦から別れ話がもち上り、松子は数日前二人の子供を置去りにしたまゝ実家川前村に帰り、当日母親と一緒に立戻つて、正式に別れ話をしようと帰つて来たところの凶行で、流し場には血こんが流れ部屋の中にはふとんはおろか食事道具以外何一つないわび住居でひどい貧乏世帯である

ヤミ米17俵押收

平署は二十八日午前十時ごろ、永塚駅から多数のカツギ屋がのり込んだとの通報を得て、平駅着午前十時三十分常磐線上り二二六列車を急襲し、持ち主不明のモチ米四十キロとうるちなどを合わせ約十七俵を押収した。

薪とりに行き行方不明

平市神谷作字脇ノ作農業菅波栄四郎さんの実弟徳長さん(五九)が去月八日山に薪を取りに行つたまゝ家出、今日に至るも帰宅しないので平署に捜査方を依頼した。

同人は低悩者で前にも数回家を飛び出した事がある。

河北新報社 松井記者着任

河北新報平通信部主任松井緑郎氏は、着任挨拶のため本社来訪。

婆さん狂言自殺

二十六日午後八時ごろ平市新川町二階堂マツさん(六三)が裏の愛谷江筋に首だけ出して入水しているのを同町渡辺ユキ子さん(二二)が発見救い上げて訳を聞いたところ狂言自殺と判つた。

銘菓 六段最中 平凡

〃立小便の〃 瓜生部長転勤

内郷、常磐両市の上水道沈下問題で、記者会見の席上「立小便失言」をした、鉱山保安監督部平支部瓜生保安部長は十六日付で通産省鉱山保安局鉱山保安試験室長に転任、二十七日現地に赴任した。

出生死亡

六月廿七日届出（敬称略）

出生＝六人町官吏力田正長女いみ子、新町印刷業遠藤平八郎四男功四郎

死亡＝正月町無職鈴木とき。

天気予報

（明日）南の風晴時々曇り遅くなつて雲が多くなりましょう

（海上）今晩は風波おさまり明日はおだやかな方でしょう

良範院儀葬送の際は御多忙中の処遠路態々御会葬下され且御鄭重なる御香奠を賜わり御厚情誠に有難く御礼申上げます
早速拝趨の上御礼申上ぐべきところ略儀乍紙上を以て御礼申上げます
昭和三十年六月二十八日
平市一丁目二一番地
喪主 鷹崎正見
親戚総代 嘉納履正
〃 菅波豊
〃 佐藤鶴松
友人代表 岡田朝五郎

不動産売買・仲介鑑定貸家斡旋
福島県知事許可公認取引所
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際色川材木店内 電三六一番

地下タビ 運動靴は 長靴 祖國
信用を誇る店
袋屋本店
平市五丁目 電五一六

縣選管委の手で再開票
果してごまかしがあるか注目
あす舊舍會議室で執行
内郷市長選

(既報) 入場者より投票実数が五票(持帰り票を含む)も多く開票に不正があつたのではないかと、選挙無効の訴願及び地検平支部への開票録偽造の告発問題まで発展して成行きが注目されていた内郷市長選挙は、県選管委に訴願中だつたが、二十九日午前九時から県選挙管理委員会の手で再開票を行うことに決定した、再会票の結果街々に噂されている不正選挙が事実行われていたとすれば以外な方面に波及するので、再開票の結果に大きな関心が寄せられている、再開票に関し内郷市役所では「まだ正式文書が来ていないので、判らない」と極秘にふしているが、同市選管事務局柴山職員は「廿九日再開票することは、間違いありません」と語つており、当日の再開票は旧町役場時代の会議室を使用して、県選管事務局員十四五名と、地元選管関係者四、五名とが立会い開票を行うが、沼田、磯貝両派からの立会人は加入させない意向である。

"臨時列車を運轉"
浴客誘致に大サービス
七月十七日から八月十四日まで

ぐずついた梅雨模様も七月に入ると一気に本格的な夏がやつて来るというので、国鉄では例年の通り海水浴客のために左の如く臨時列車を運転することに決つた。いずれもお客さんの夏の装いを考慮して、煙りのたゝないガソリンカーを出動させてサービスすることになり期間は七月十七日から八月十四日までダイヤは次の通り(カツコ内は時間)

▼臨気ちどり一号▽平(七、四〇)—久ノ浜(八、〇三)▽久ノ浜(八、〇八)—平(八、三〇)
▼臨気ちどり二号▽平(八、四〇)—久ノ浜(九、〇五)▽久ノ浜(九、五〇)—平(一〇、〇八)
▼臨気ちどり三号▽平(一四、二〇)—久ノ浜(一四、四二)▽久ノ浜(一五、〇〇)—平(一五、二六)
▼臨気ちどり五号▽平(一五、三五)—久ノ浜(一五、五九)▽久ノ浜(一六、〇五)—平(一六、三一)
▼臨気ちどり六号▽平(一六、三五)—久ノ浜(一六、五七)▽久ノ浜(一七、〇〇)—平(一七、二六)
▼臨客くろしお▽平(七、二五)—小名浜(八、〇七)▽小名浜(一五、五〇)—平(一六、四二)=七月廿四日から八月十四日まで
▼臨客しおじ▽平(七、五五)—小名浜(八、三七)▽小名浜(一六、五四)—平(一七、三七)
▼臨延気▽勿来(一〇、五〇)—磯原(一一、〇六)▽磯原(一一、一二)—勿来(一一、二五)

読者の声

住所、氏名、明記のこと 紙上匿名を認めます

まゆをひそめる醜態
白昼からバーに寝そべる高校生

▽授業が終つて帰途にある高校生が途中の喫茶店やミルクホールの一角で飲食している姿が最近めつきり増えており、彼等が学生であることを忘れずつゝましく飲んでいるのなら批判もわかないのであろうが、余り客の入らないミルクホールなどでは店員さんをからかつたり、運ばれたパンやお菓子に文句をつけたり、あげくの果てにボックスにゴロリと横になつて今流行の「マンボ」をドラ声でわめき散らすに至つては、店員達はじめ周囲のお客さんがマユをしかめるのも、一応もつともな事である

▽さきに平市内B高校で生徒の下駄ばきを禁止したが、こう云つた指導はたんに外装のみでなく小中校の様に年少者でもないので、もつと積極的な校外生活指導が必要なのではないか／との声が盛んに叫ばれている

▽去る二十一日午後四時半すぎ、平市駅前のAミルクホールに市内高校生数名が入つて居た彼等は店内におとなしそうな若者二人以外に客のないことを知つてか、ボックスにあお向けになつて"マンボ"を歌つて盛んに気勢をあげていたのであるが、傍若無人の振るまいは若い客をすつかり憤らせてしまつた。

▽さらに彼等は他人の迷惑などてんで眼中になく今度は用事でそばを通る店員をよびとめて、パンにつけたジャムが少ないとか他の店なら俺達をみるともつとつけてくれるとか難クセを一杯つけて年少の店員をからかい、応答にこまつてこそこそとかけて行くうしろから、あたりはばからぬ高笑いを演じていたのであつた。

▽話は唯それ丈であるが、こうした学生の居ることによつて今の高校生全体が同じものなのだとみられる懸念がないでもないと云うのが高校生の子を持つ親達の共通した悩みであるようだ。(平市白銀町A生)

諸橋市長が "一日署長"
平署一周年記念

平署では七月一日が県警発足一周年記念日に当るので、これを記念して「一日署長」を行う、一日署長には諸橋平市長に依頼して、署内の設備を検査し悪い所はドシドシ指摘して貰い改善しようというものである。

内郷連PTA

内郷市内連合PTA会は廿九日午後一時から内町小学校で開き、夏期対策などについて協議する。

平局に大臣賞

平郵便局(局長勝呂幸雄氏)は七月六日東山温泉で開かれる局長会議の席上、郵政大臣から優良貯金局として表彰をうける。

柔剣道大会
平署一周年記念

平署では七月一日発足一周年に当るので同署演武場で記念の市町村親善柔剣道大会を開く

平市に赤痢

平市北白銀四十神保フクさん(五八)は二十七日赤痢で隔離された。

"平事件を公正に"
常磐労組で決議文提出

平事件の判決を目前に控えて、常磐炭砿労組では廿六日第十八回定期大会の席上、判決を公正にして貰いたい旨の決議文を満場一致で承認、近日中に決議文として地裁平支部山田裁判長あて提出することになつた。
この動機は執行部から提出されたものだが、執行部には元同労組員だつた被告添田計、佐藤多美雄(常磐市議)氏ら六名から提出していたものである。

"お氣の毒なお友達に"と
高坂小のヨイ子から獻金

過般不慮の失火から消失した若松市一箕小学校の気の毒なお友達に差上げて下さいと、廿七日夕刻四千九百八十円を本社に届けられた。これは高坂小学校の児童と先生たちが気の毒な一箕校のお友だちを御見舞してあげましようと集められた同情金なので、早速本社では県教委石城出張所を通じて贈り届けてやつた。

湯本三小增築

常磐市では工費七百二十万円で湯本第三小校の六教室増築工事を近く着工する。

磐城民生委員更迭

磐城市民生委員坪内清、小林七郎各氏は此ほど辞任、後任に高鼻みち(泉)、浮石左門(小名浜)、各氏が推選された。

資金造成映畫

磐城市小名浜職場野球連盟では資金造成のため、七月六日から九日まで、磐城座で名画観覧会を催す▽映画は「男ありて」(野球)その他、前売券は百円

鮫川改良区で協議会

鮫川堰土地改良区では二十九日午後二時より事務所階上で運営其の他に関し協議会を開く。

磐城署一周年行事

磐城警察署では七月一日の警察制度改正一週年記念に当り、民衆警察の理解をより深かめるため▽、宣伝体活動、▽表彰、▽、懇談会、▽警察署内の一般従覧などを行う。

三代氏再選
小名浜漁協組長

小名浜漁業協同組合の組合長選挙は二十六日行われ、三代義勝氏が選れた。氏は今回で四期当選となつた。専務理事は後日選任される。

菅野警部補警察学校へ

平署捜査係長菅野豊警部補は約一カ月に亘つて東北仙台管区学校高等部の教科をうけるため二十八日午前十時四十一分下り列車で仙台に向かつた。

今晩のラジオ

NHK(第一)

6、00、子供のシンブン ちえのポスト
6、25、オテナの塔
6、45、話題を追つて
7、15、録音ニュース
7、30、話の泉
8、00、宵空の仲間
8、30、民謡を訪ねて
9、05、ニュース解説
9、15、放送劇(源義経)
9、45、時の動き
10、15、ドレミファ大学
10、40、芸術よもやま話

ラジオ福島

6、05、消える孤島
6、15、草笛太郎漫遊記
6、40、まぼろし小僧の冒険
7、15、連続ドラマ(新選組)
7、30、浪曲齊々木米若
8、00、一番寄席
8、80、歌の風車
9、05、浪曲春日井梅おう
9、35、パリへの誘い
9、50、夜の調べ
10、05、名作アルバム
10、20、夜の案内
10、25、夜の希望音楽会

今晩の映画

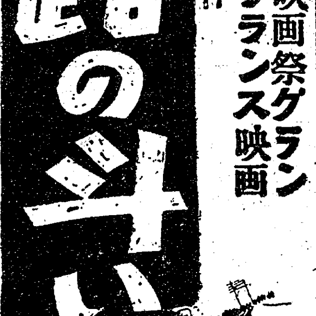
◎平館 夜の部 七時 落日の決斗 奥様多忙(二十八日まで)
◎世界館 夜の部 六時五八分 火牛坂の悪鬼 娘の縁談(二十八日まで)
◎民劇 夜の部 七時 荒原の女 銅の谷(一日まで)
◎ひかり座 夜の部 六時二五分 女性の敵 異教徒の旗印(四日まで)
◎聚楽館 夜の部 六時五五分 男ありて 三人の狙撃者(二十八日まで)

眼鏡専門
年に一度は眼の検査
近眼視力
正しい視力
乱視視力
玉屋眼鏡店 平市二丁目 電910番

割烹 湖月 平電一〇七三

★★映画は大映★★★★★★★
ねらつた悪人は必ず殺して煙りのように消える凄く強い白頭巾------
月を斬る影法師
勝新太郎 長谷川裕見子 峰幸子 小町瑠美子
舞う・躍ろ・野狐三次の喧嘩とび
あばれ纏千両肌
監督 荻原りよう
中村錦之助 高千穂ひづる 堺駿二 月形龍之助

29日 明日封切 世界館

カンヌ国際映画祭グランプリに輝くフランス映画最高の問題作
鉄路の斗い

ベルナウル・クラルウ ドーラン・デサニヨウ ジユウ・ラトル
29日ヨリ
天然色総
バルテルミーの大虐殺
最愛のひといま断頭台上に立つ女王マルゴの涙の絶叫は風雲のルーヴル城の壁をゆるがして嵐を呼ぶ
ジヤンヌ・モロオ フランソワーズ・ロゼエ アルマンド・ランチオーリ
文豪アレクサンドル大デユマ原作の長篇大衆小説の映画化
聚楽館

初夏とともに… お家族御同伴で…
新鮮なソフト
ソフトアイスクリームを
アイスマック 一コ二〇円
★最新式ソフトクリーム機械が入荷致しました 何卒御来店の程
お食事のデパート
不二屋
平駅前電886 1750

看護婦 家政婦の御用命は… 電三〇七番へ
労働大臣認可
平看護婦家政婦斡旋所
御派出多忙会員募集